

人間関係と学習意欲の関係

仙台第三高等学校 E5班

序論

私達は学力、学習意欲に興味があり、それに関係があるものを挙げていった結果、人間関係とのつながりにおいて研究の余地があるという考えに至った。そのため、人間関係と学習意欲の関係を明らかにするために以下の研究を行った。

結論・まとめ

本研究では、良い雰囲気の学級を築くことで学習意欲が高まり、また、友人関係を深めることでも学習意欲に影響を与えられるということが判明した。また、本研究の確実性の向上のための対象者の増加、更に他校での調査と比較をし学力との関連性を調べることも研究の余地があると考えます。

研究方法

学習意欲、学級雰囲気について先行研究を調べたところ、「生徒の援助ニーズを把握するための尺度の活用」(河村茂雄 1999)に高校生の学校生活の適応感を調べることに利用できるとされた尺度「スクール・モラル尺度(中学生用)」(河村,1999)が示されていた。その内、「友人との関係」「学習意欲」「学級との関係」の3つの尺度を用いて、質問項目を作成、8/21~8/23にアンケートを実施した。対象者は、本校2学年普通科理系の生徒39名である。これらの尺度において5件法(1;全く当てはまらない、2;あまり当てはまらない、3;どちらとも言えない、4;やや当てはまる、5;とても当てはまる)で回答を求めた。各尺度はそれぞれ4項目からなり、その合計点を得点化した後、それぞれの得点から相関係数を求め、無相関の検定を行った。「友人との関係」と「学級との関係」の関連性については、テーマから逸れるため調査しなかった。

| 質問項目 | |
|--------|---|
| 友人関係 | <ul style="list-style-type: none">・学級内には、いろいろな活動やおしゃべりにさそってくれる友人がいる・学校内に気軽に話せる友人がいる・人と仲良くしたり友人関係をよくする方法を知っている・友人とのつきあいは自分の成長にとって大切だと思う |
| 学習意欲 | <ul style="list-style-type: none">・学校の勉強には自分から自主的に取り組んでいる・学校の勉強の中で、得意な教科や好きな教科がある・授業の内容は理解できている・学習内容をより理解するための、自分なりの学習の仕方がある |
| 学級との関係 | <ul style="list-style-type: none">・自分のクラスは仲のよいクラスだと思う・クラスの中にいると、ほっとしたり、明るい気分になる・クラスで行事に参加したり、活動するのは楽しい・自分もクラスの活動に貢献していると思う |

結果・考察

友人関係と学習意欲の相関 (n=39)

| | 友人関係 | 学習意欲 |
|------|------|------|
| 平均 | 17.6 | 15.0 |
| 標準偏差 | 2.37 | 2.88 |

学級関係と学習意欲の相関 (n=39)

| | 学級関係 | 学習意欲 |
|------|------|------|
| 平均 | 14.7 | 15.0 |
| 標準偏差 | 3.02 | 2.88 |

上の表は、友人との関係と学習意欲、学級との関係と学習意欲それぞれの合計点についての平均及び標準偏差を示したものである。

| | 友人関係 | 学級関係 |
|------|--------|--------|
| 学習意欲 | 0.326* | 0.566* |

*p<.05

「友人との関係」と「学習意欲」については相関係数 $r=0.326$ であり、t検定を行ったところ有意であった(*p<.05)。よって「友人との関係」と「学習意欲」には正の相関が見られた。つまり、「友人との関係」の合計点が高い程「学習意欲」の合計点が高くなった。また、「学級との関係」と「学習意欲」については相関係数 $r=0.566$ であり、t検定を行ったところ有意であった(*p<.05)。よってこれらにも正の相関が見られた。つまり、「学級との関係」の合計点が高い程「学習意欲」の合計点が高くなった。

参考文献

・生徒の援助ニーズを把握するための尺度の活用(1999年、河村茂雄)